

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																		
日本美容専門学校		昭和51年11月5日		阿部博人		〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目21-12 (電話) 03-3200-0813																																		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																		
学校法人日美学園		平成14年11月20日		網蔵糸乃		〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目21-12 (電話) 03-3200-0813																																		
分野		認定課程名		認定学科名		専門士																																		
衛生		美容専門課程		専門科		平成16年文部科学省告示 号外第29号																																		
高度専門士		-																																						
学科の目的		美容師としての職業に必要な実践的・専門的な美容の知識・技術を習得させるとともに、「美の実践者」である美容師に求められる豊かな感性、デザイン力、コミュニケーション力を身につけることを目的としている。																																						
認定年月日		平成30年 2月 28日																																						
修業年限		昼夜		講義		演習																																		
2年		昼間		実習		実験																																		
		2010時間		759時間		171時間																																		
				1080時間		-																																		
						単位時間																																		
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内数)		専任教員数																																		
740人		627人		1人		33人																																		
兼任教員数		総教員数																																						
32人		65人																																						
学期制度		■第1学期:4月1日～9月30日 ■第2学期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績の評価は主として試験の成績によるものとし、100点を満点とし60点以上を得たものを合格としている。 課目ごとに評価し、平均値を算出している。																																		
長期休み		■学年始:4月1日 ■夏 季:7月上旬～8月下旬 ■冬 季:12月下旬～1月上旬 ■学年末:3月中旬～3月下旬		卒業・進級 条件		・各科目の所定履修時間を履修していること。 ・全科目の認定試験に合格していること。																																		
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別相談・指導等の体制は手厚く整備している。		課外活動		■課外活動の種類 海外研修、バス旅行や合宿、音楽芸術特別授業など年間を通して様々な課外活動を実施。 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等																																		
就職等の 状況※2		■主な就職先、業界等(令和5年度卒業生) 美容室への就職割合が最も高く、その他、ネイルサロン、ヘアメイクスタジオ、ブライダル関係など美容業界において幅広い業種に就職している。 ■就職指導内容 就職指導は、クラス担任と進路相談室の就職担当者により行っている。就職活動における心構えや活動方法等を「就職ガイダンス」にて伝えるとともに、サロンと連携し「就職説明会」も開催している。 ■卒業生数 329 人 ■就職希望者数 325 人 ■就職者数 : 325 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 99 % ■その他 ・他の分野に就職、その他数: 37人 令和5 年度卒業者に関する (令和6年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		(令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報) <table><tr><th>資格・検定名</th><th>種</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr><tr><td>美容師国家資格</td><td>②</td><td>329 人</td><td>297人</td></tr><tr><td>JNECネイル検定3級</td><td>③</td><td>19人</td><td>14人</td></tr><tr><td>JNECネイル検定2級</td><td>③</td><td>10人</td><td>3人</td></tr><tr><td>JNAジェルネイル検定初級</td><td>③</td><td>1人</td><td>1人</td></tr><tr><td>JNAジェルネイル検定中級</td><td>③</td><td>2人</td><td>0人</td></tr><tr><td>認定フェイシャルエステシアン</td><td>③</td><td>3人</td><td>3人</td></tr><tr><td>JEECエステティシャンセンター試験</td><td>③</td><td>0人</td><td>0人</td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄・・・(例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況 高質富士子記念美容文化賞受賞 RAZORCUTSUDENTCOMPETITIONモデル賞受賞 全国学生技術コンテスト2023年等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家資格	②	329 人	297人	JNECネイル検定3級	③	19人	14人	JNECネイル検定2級	③	10人	3人	JNAジェルネイル検定初級	③	1人	1人	JNAジェルネイル検定中級	③	2人	0人	認定フェイシャルエステシアン	③	3人	3人	JEECエステティシャンセンター試験	③	0人	0人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																					
美容師国家資格	②	329 人	297人																																					
JNECネイル検定3級	③	19人	14人																																					
JNECネイル検定2級	③	10人	3人																																					
JNAジェルネイル検定初級	③	1人	1人																																					
JNAジェルネイル検定中級	③	2人	0人																																					
認定フェイシャルエステシアン	③	3人	3人																																					
JEECエステティシャンセンター試験	③	0人	0人																																					
中途退学 の現状		■中途退学者 42 名 令和5年4月1日時点において、在学者697名(令和5年4月1日入学者を含む) 令和6年3月31日時点において、在学者655名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 中途退学の理由の大部分は、他分野への進路変更となっている。その他、本人の体調不良、家庭の事情や金銭的な問題などが挙げられる。 ■中退防止・中退者支援のための取組 入学後は、学業面以外も担任によるきめ細やかな指導を行っている他、状況に応じて学年主任や部長との話し合いの場を設けている。また、プロのカウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制も整備している。		■中退率 6 %																																				
経済的支援 制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ■被災に被災・罹災された状況により授業料の減免区分を決定し減免を実施する(区分:授業料の1/3・2/3・3/3免除) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・有 令和5年度 給付実績者 3名																																						
第三者による 学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																						
当該学科の ホームページ URL		<a href="https://www.nichibi.com/">https://www.nichibi.com/</a>																																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。 )における企業等との連携に関する基本方針			
1)美容業に関連する業界団体、企業等と連携を図り、美容業界及び現場の動向、ニーズを把握する。 2)美容業の現状を把握分析した上で、本校の教育理念に基づき、カリキュラム編成や授業運営方法の検討を行う。 3)実施した教育内容については、教育成果を含めて教職員で振り返り、改善を図っていく。			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 本校では、学内の「カリキュラム編成委員会」を中心に教育課程の編成を行っている。外部の企業等の委員を含めて構成される「教育課程編成委員会」には、「カリキュラム編成委員会」の主要メンバーも重複して所属することにより、「教育課程編成委員会」で外部委員より伺った意見等を、学内の「カリキュラム編成委員会」メンバーへと共有しやすい組織体制を取っている。 意見・要請を十分に理解、精査した上で、実践的且つ専門的な職業教育を実施すべく、カリキュラム編成に活かしている。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
令和6年4月1日現在			
名 前	所 属	任期	種別
関口 豊一	美容室CECILE International 代表東京都美容生活衛生同業組合 理事	令和6年4月～令和9年3月	①
小栗 久一	(有)ピラク・フリー・ビューティー 代表取締役	令和6年4月～令和9年3月	③
脇田 将樹	株式会社イディア・ノブ代表取締役社長	令和6年4月～令和9年3月	③
春木 浩子	(有)オルトウインジャパン 代表取締役	令和6年4月～令和9年3月	③
網蔵 糸乃	理事長	令和6年4月～令和9年3月	
熊木 徹	副校長・教務統括部長	令和6年4月～令和9年3月	
星 一鷹	昼間部部长	令和6年4月～令和9年3月	
齋藤 道生	夜間部部长	令和6年4月～令和9年3月	
佐藤 美加子	総合美容科部長	令和6年4月～令和9年3月	
星 昭夫	顧問	令和6年4月～令和9年3月	
廣瀬 美和	事務長	令和6年4月～令和9年3月	
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。 ) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 翌年度教育課程編成に関する委員会を前年度の1月以前に2回以上開催する。 (開催日時) 令和5年度 第1回 令和5年6月20日 10:00～11:00 第2回 令和6年2月13日 10:00～11:00 令和6年度 第1回 令和6年6月 予定 第2回 令和6年11月 予定			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 教育課程編成委員よりサロンで求められる技術・スキルについて、より実践的な技術、「技術の壁」を乗り越える事などを学んで欲しいという意見を受け、美容実習において実践的な施術トレーニングを組み入れ積み重ね練習による技術力アップを美容実習のカリキュラムへ反映させた。また、「対人の壁」を乗り越えて欲しいという意見があり、美容心理学においてコミュニケーション能力の向上や接客技術の応用力に繋がるように反映させた。			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
1)企業等と連携を図り、当該科目における専門的知識・経験が豊富な講師を招いて実習等の授業を行う。 2)企業等の高い専門性と技術を取り入れることで、学生に実践的な能力を身につけさせる。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 企業と連携する実習・演習においては、科目ごとに当該分野の専門知識・経験が豊富な外部講師と本校の部長間で授業内容の協議を行っている。美容師育成のために必要となる高度な専門知識と最新の情報をもとにシラバス・授業計画を立てている。また、学習成果に関しては事前に外部講師と確認・作成した実力試験・期末試験を行い成績評価・単位認定を行っている。			
(3)具体的な連携の例			
科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等	
デザイン演習	クロッキーの実習を通じて、デザイン理論の体験的理解と感性の向上を図ります。	アトリエ藍	
美容心理学	美容、美しさとの関係について、心理テストなどの実習やストレス対策に必要なカウンセリングの知識・技術を学びます。	株式会社メイン／メインメンタルヘルス研究所	
香粧品化学	美容に用いられるさまざまな機械器具、香粧品の働きを理解し、正しく取り扱い上で必要な化学的知識を学びます。	株式会社 アリミノ	
運営管理	サロン経営に必要な経営管理、労務管理、接客法、マーケティングなどの知識・手法を学びます。	株式会社アイディアイ、株式会社TNP	
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教育研修規程にあるように職員に対して学校の業務に必要な知識及び技能を計画的に教育することを目的に毎年研修に参加している。 教員は習得した知識・技術を教員間で共有し、学生への教育へと反映させていく。			
(2)研修等の実績			
①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「理容師美容師養成施設教員資格認定研修会ー美容技術理論及び美容実習ー」 (連携企業等:公益社団法人 日本理容美容教育センター) 期間:令和5年12月5日～12月20日(12日間) 対象:教員1名 内容:研修課題(美容技術理論及び美容実習12日間)を受講することにより当該科目を担当する為に必要な知識及び技能を習得し、当該学科の実践的な指導に活かしている。			
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名「春の会員 勉強会」(連携企業等: 職業訓練法人 全日本婚礼美容家協会) 期間:令和5年5月8日(1日) 対象:教員2名 内容:研修課題「振袖・色打掛・留袖等着付け技術と地毛結い日本髪(割れしのぶ)・十二単・文金高島田黒振袖花嫁」(1日間) 当該課程の教員が着付け技術の向上に必要な知識と技術を習得。			

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「JBMA Professionalコース」(連携企業等：一般社団法人ジャパンビューティメソッド協会)  
期間：令和6年7月24日・25日(2日間) 対象：教員5名  
内容：メイクアップの実践力を高めるためのプロフェッショナルメイクアップセミナーを当校のメイクアップの専任が受講する。当校、メイクアップ技術を担当する者の知識と技能のレベルアップの為受講する予定。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「色彩技能パーソナルカラー検定講座」(連携企業等：NPO法人日本パーソナルカラー協会)  
期間：令和6年7月25日(1日) 対象：教員6名  
内容：研修課題「モジュール3」(1日間) 当該課程の教員がメイクアップ、カラーリング技術などの際に色の効果によるカラーアドバイスの向上に必要な知識と技術を習得。

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

1)本校の教員は、自ら積極的に美容専攻分野の知識・技術の習得・向上を図っていくとともに、学校は、教員各々のレベルに応じた各種研修プログラムを用意し、教員のレベルアップを支援する。  
2)各種研修プログラムは、①校内プログラム②企業等との連携による研修③OJT の3区分で実施する。企業等との連携による研修は、企業より講師を招いての研修、業界団体が実施する研修への参加、企業との共同研究・開発などが含まれる。  
3)教員は習得した知識・技術を教員間で共有し、学生への教育へと反映させていく。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」

(1)学校関係者評価の基本方針

1)美容業界関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者より学校関係者評価委員を選定し「学校関係者評価委員会」を開催する。  
2)学校関係者評価委員は、「自己評価報告書」の評価項目に対し、当該委員の経験を活かして幅広く評価を行う。  
3)学内担当者は学校関係者評価委員会からの評価結果を、今後の学校運営及び教育活動等への改善に活かしていく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

サロンが求めている人材や就職サポートに対する意見を踏まえ、校内の就職支援体制を教化し、教員のレベルアップについても意見交換を行い、現行の体制を維持し、さらに意識的に取り組んでいく方針を打ち立てた。  
本校の理念、人材育成方針、教育活動内容や学習成果等、学校関係者委員より高く評価していただいた項目については、教職員間で共有し、本校の強みとして継承・維持していくものとした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
関口 豊一	美容室CECILE International 代表 東京都美容生活衛生同業組合 理事	令和6年4月～令和9年3月	業界団体役職等委員 /卒業生
小栗 久一	(有)ピラク・フリー・ビューティー 代表取締役	令和6年4月～令和9年3月	企業等委員 /卒業生
春木 浩子	有限会社ヴォールドウィンジャパン 代表取締役	令和6年4月～令和9年3月	企業等委員
脇田 将樹	株式会社イディア・ノブ 代表取締役社長	令和6年4月～令和9年3月	企業等委員 /卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公開：令和6年6月  
ホームページ・その他( 閲覧 )  
<https://www.nichibi.com/release>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

1)本校の教育理念・育成人材像及び学校運営方針について積極的に企業等の学校関係者へ情報提供を行う。  
2)教育機関として、教育活動内容に対しての社会的説明責任を果たす。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要・目標及び計画
(2)各学科等の教育	美容専門課程の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納入金・修学支援
(8)学校の財務	財務諸表
(9)学校評価	自己評価報告書
(10)国際連携の状況	国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ(1～7・9～10)・広報誌等の刊行物 (3)・その他( (8)は閲覧のみ ) )  
URL:<http://www.nichibi.com>

# 授業科目等の概要

(美容専門課程専門科昼間部) 令和6年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		実務経験のある教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			関係法規・制度	衛生行政、美容師法など、美容に係わる法律について学びます。	1～2通	30		○			○			○		
○			衛生管理	サロンでの公衆衛生と衛生管理、伝染病予防などに関する基本的な知識、消毒法などについて学びます。	1～2通	90		○			○		○	○		
○			保健	人の容姿の重要な部分でもある頭頸部を中心に人体の構造及び機能と、皮膚・毛髪などの皮膚付属器官や関連する神経等について健康に保つ方法や疾患について学びます。	1～2通	90		○	△		○			○		
○			香粧品化学	美容に用いられるさまざまな機械器具、香粧品の働きを理解し、正しく取り扱い上で必要な化学的知識を学びます。	1～2通	60		○	△		○		○	○	○	○
○			文化論	美容・ファッション・デザインの変遷、色彩や表現方法などについて学びます。	1～2通	60		○			○		○	○	○	
○			美容技術理論	美容師に必要な基礎技術～総合技術を習得し、器具の取り扱い、その目的や種類、特徴、技術上の注意点について学びます。	1～2通	150		○			○		○		○	
○			運営管理	サロン経営に必要な経営管理、労務管理、接客法、マーケティングなどの知識・手法を学びます。	1～2通	30		○	△		○			○	○	○
○			美容技術	美容師に必要な基礎技術～総合技術を習得します。トリートメント、シャンプー、フェイシャル、メイク、セッティング、ネイル、着付、カラーリング、カット＆ブロー、ワインディング他。	1～2通	900			△	○	○		○		○	
○			英語コミュニケーション	美容の現場を想定した会話を中心に、実践的な英語を学びます。	1通	30		○			○			○	○	
○			デザイン構成	構成、造形、色、装飾、動きなどの基本的なメカニズムについて理解します。	2通	30		○			○			○		
○			美学芸術学	絵画、彫刻、映像、写真など、芸術一般の歴史や文化について学び、感性を磨きます。	1～2通	30		○			○			○	○	
○			美容心理学	美容、美しさと心の関係について、コミュニケーションを中心に、お客様を理解し信頼と満足を得るための知識・技術を学びます。	1～2通	60		○	△		○			○	○	○
○			クリエイティブワーク	コミュニケーションや思考を支える「言葉」を中心に情報収集して考え表現することに取り組みます	1～2通	45		○			○			○		
○			エステ理論・技術	ヘアと関係深い顔の皮膚に関する基本的な知識とフェイシャルを中心に、エステの基本技術を学びます	1～2通	60			△	○	○		○		○	
○			美容モード	ヘアデザインの歴史と創造のプロセスを学び美容技術を通して表現することを学びます。	1～2通	135			△	○	○		○		○	
○			デザイン演習Ⅰ・Ⅱ	体のバランス、色彩、デザイン原理、デッサン等の技法を通じてデザインを創造する技術と力を磨きます	1～2通	90			○		○			○	○	○
	○		総合技術	各自の興味や目的に合わせて、美容の様々な知識や技術をさらに高める目的で設置された日美の特色のある授業のひとつです。	2通	120					○	○		○		
合計			17科目			2010単位時間(単位)										
実務経験のある教員による授業時間数 1665時間																
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
卒業要件としては2年間、本校の規定している必修科目及び選択必修科目の授業を履修し、学科・実技の試験に合格していること。又、レポート、提出物等すべて完了していること。								1学年の学期区分				2期				
								1学期の授業期間				20週				